

問 鹿角高校について支援体制を整え、全国から入学者を呼び込む施策ができないか。

答 鹿角高等学校支援協議会では高校の魅力を高める取り組みの強化で、生徒の成長を促すとともに地域の振興と発展を目指していく。



鹿角高校について

問 勉強意欲の向上や悩み事の改善等のために、メタバース上でオンラインの学び場のシステムを導入し、無料提供できないか。

答 オンラインの学び場の提供は、地域の教育機会を拡充するための有効な手段と考えているが、生徒のニーズに応じた内容を検討し、鹿角キャンパス構想との連携も意識しながら可能性を探っていく。

家庭ごみの資源化などについて

問 ごみの資源化には相当の費用と労力がかかるが、今後資源化を進めていく中で家庭ごみ収集の有料化はあるのか。

答 市民に必要な公共サービスという観点から、家庭ごみの定期収集については手数料を徴収しないことにしてきたが、廃プラスチックの分別収集の実施や大館市とのごみ処理の広域化に向けた可能性を検討しており、状況の変化も踏まえながら有料化について慎重に検討していく。

質問した項目

- 鹿角高校について
- 家庭ごみの資源化などについて
- 感染症対策について
- 経済対策について



録画配信はこちらから

湯瀬 弘充 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分

問 花輪線の利用促進でサイクルトレインの実証実験を行ったが、今後どのように結び付けるのか。

答 自転車を活用した観光「サイクルツーリズム」のモデルコースを提案するなど花輪線利用促進協議会で検討していく。



地域医療について

問 来年からかづの厚生病院の小児科へ常勤医の派遣と入院の受け入れが中止となる。要望継続をしていくとしているが、見込みは。

答 継続には、常勤医の負担軽減や患者の増加が必要不可欠であり、常勤医派遣はハードルが高いと考える。しかし、子育て支援の充実や移住・定住促進に大きな影響があると危惧しているため、小坂町と共に入院病床維持に全力で取り組んでいく。

中学校部活動の地域移行について

問 今年度からソフトテニス、卓球、吹奏楽の地域移行のモデル事業が行われているが、現段階での課題は。

答 スポーツ関係では、基礎練習や試合形式の練習を行っており、内容の充実や生徒の面的成長を期待する意見が多く、今後の指導の在り方にいかしたい。吹奏楽では、楽器講習会を実施し、外部の専門家を招聘し技術の向上には有効であったが、費用が高額で継続的な開催は困難なこと、楽器の運搬などの移動の負担が課題となった。

質問した項目

- 花輪線の利用促進について
- 地域医療について
- 鹿角高校の支援について
- 中学校部活動の地域移行について
- 移動期日前投票所の設置について



録画配信はこちらから

成田 哲男 議員（誠心会）

質問時間 30分